

# 南会津へ送る風

このコーナーではふるさと南会津会の会員の皆さんなど南会津出身の方に昔の思い出や故郷への思いなどを寄稿いただいたものを紹介します

## 「我が人生の原点 田島での夏休み」

東京都板橋区 菊地 淳

『アッもう5時だ。早く起きっぺ』弟と従弟達を起こす。半袖、半ズボン、あっという間に着替える。眠たい目を擦りながらかぶと捕りに出掛ける。普段は早起きできないのに休みの日は別だ。みな顔も腕も足も真っ黒だ。毎日の奮闘振りが窺える。

小中学校時代埼玉に住んでいた。夏休みは母の実家（田島町上町・大山家具店）に遊びに行くのが最高の楽しみだった。年に一度の夏休み。それは当時の私にとってかけがえのないイベントだった。夏休みが近づくとウキウキした。爺ちゃん、婆ちゃんに会えると思うと嫌なことも忘れた。田島の家は祖父、祖母、叔父、叔母と従弟の宏英、真由美、宏宗が暮らしていた。そこに私と弟が遊びに行くと家の中は賑やかで毎日祭のように楽しかった。毎年1ヶ月以上お世話になった。従弟達と本当の兄弟のように面倒をみて頂いた。一緒に学び、一緒に遊び、一緒に食べ、一緒に風呂に入り、一緒に寝起きを共にした。ある時は蝉やとんぼ捕り。ある時は丹藤川でかじか捕り。そしてある時は従弟の友達とソフトボール。盆踊りは毎年仮装して踊りまくった。個人で特賞も頂いた。めったになかったが悪いことをしたら当然叱られた。祖父や叔

父からは厳しさや頑張ることの大切さも学んだ。埼玉に帰るときはみんなから『又来いよ。元気でやれよ』と見送られた。涙をこらえた。小学校1年生から中学3年生まで9年間毎年夏休みは田島で暮らした。大自然の中で一杯愛情を頂き沢山のことを学んだ。私の財産だ。私の原点だ。

今、東京で教育の会社を経営している。中学生や高校生の研修会、保護者の講演会、先生方の勉強会など1学期だけでも250回以上の予約を頂き実践している。夢や目標がない、自己肯定感を持ってない子ども達が増えている。彼らがしっかりした目標を持ち、夢実現に向けて頑張ることを本気になって応援したい。そんな想いで毎回研修会に臨んでいる。あの田島での夏休みが今の自分を築いて頂いたと心から感謝している。田島が大好きだ。



菊地 淳さん  
(田島・上町出身)

### 編集後記

▽先月号から広報みなみあいづの編集を担当しております。相原寛之です。これからもよろしく願っています。▽広報の編集で一番苦労している部分が、表紙の写真です。今まで私生活であまり写真を撮ってこなかったせいもあり、写真を撮るコツというものがつかめていません。▽「とにかく枚数をたくさん撮ること。そうすればいい写真が必ずある」▽広報担当の先輩に言われたことです。昔のフィルム式カメラと違い、今のデジタルカメラは何十枚、何百枚も撮ることが出来ます。▽「下手な鉄砲も数打ちゃ当たる」この心持ちで日々シャッターを押しています。▽今月号の表紙は、びわのかげ保育所の田植えで一枚。いかがでしょうか。当たってますか？まだまだですか？

総合政策課広報情報係 相原寛之

### 【お詫びと訂正】

広報みなみあいづ5月号で誤りがありました。

「消防団秋季検閲式開催予定日」(7ページ)

誤 10月30日(日)

正 10月28日(日)

「まちの文芸 おくやま吟社」(19ページ)

3句目作者

誤 星 柳山

大変申し訳ありませんでした。お詫びして、訂正いたします。

# まちの文芸

## おくやま吟社 (田島地域)

若菜摘む妻の仕草や母に似て  
朝一輪夕べ満開朧月  
風わたるかたくりの山動き出す

山口いつせい  
渡部 古泉  
湯田 畠道

## 伊南銀杏俳句会 (伊南地域)

川の字に孫の吐息や春眠し  
鋏頭妻の支持あり芋植うる  
囀りの鬨の声をも古城跡

美世子  
良  
りつ子

## 南郷俳句会 (南郷地域)

晩学のノートひらけば水温む  
お祝辞は短きがよし福寿草  
三つ見て二つ忘れる四月馬鹿

五十嵐恭子  
星 美恵子  
河原田光子

## 会津山口俳句会 (南郷地域)

春泥に顔を汚して迷ひ犬  
草の芽に雨が力を与へけり  
散る花に風のやさしき車椅子

大塚 麗華  
大竹 元子  
鈴木 瑛華

## 鳴山短歌会 (田島地域)

春を連れしひひな迎へて白酒を  
きみと酌みつつ頬染まりくる  
入院せる我を励ます孫らのため  
強く生きむとリハビリを受く  
初めての年金振り込み通知受く  
少額にして不安湧き立つ

梅宮トキ子  
梅宮 直子  
大竹 幸一

ライブショー保護のため、ホームページ掲載分の  
消息欄は削除しました。ご了承ください。